

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ土浦第3支援教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		～ 2025年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	・物を出したままにしないようにしている。	・集中が切れやすい環境にならないよう、教室内には最低限の物だけにする。使った机、おもちゃ等の消毒をこまめに行い、衛生環境を整えていく。
2	・父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている。	・親子イベントを年に数回企画している。 ・出来るだけ多くの参加者を募るため、お知らせや声かけなどをこまめに行っている。	・保護者や子供のニーズを聞きやすい環境であることを活かし、事業所に対してどういったもの、何が求められているかを考えていく。
3	・定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	・Instagramを活用して、活動内容等の広報に努めている。	・HUG上の活動記録等も活用しながら、発信する内容を増やしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切ではない場合がある。	・公休等の都合により、人員配置が難しい。 ・個々の力が強く全体として弱い。	・送迎を2便にしてまとめる等で対策しながら、送迎中の待機の支援員もできるだけ配置していく。 ・個々の強みを生かして、全体としての視野を広げていく。
2	・学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしていない。(まだ出来ていない。)	・卒業・移行する、控えている児童が現在いない。	・今後そういった児童も出てくるため、どのような形で進めていくか検討していきたい。
3	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会を設けることが出来ていない。	・企画のみで、スケジュール等の都合もあり実現せずに終わってしまっている。 ・周囲からの協力を仰がないと難しい。	・支援員間で連携を図りながら他施設との関わりを増やしていく、企画の段階で前もって周知する。 ・連絡、場所等の事前の下準備をしっかりと行う。